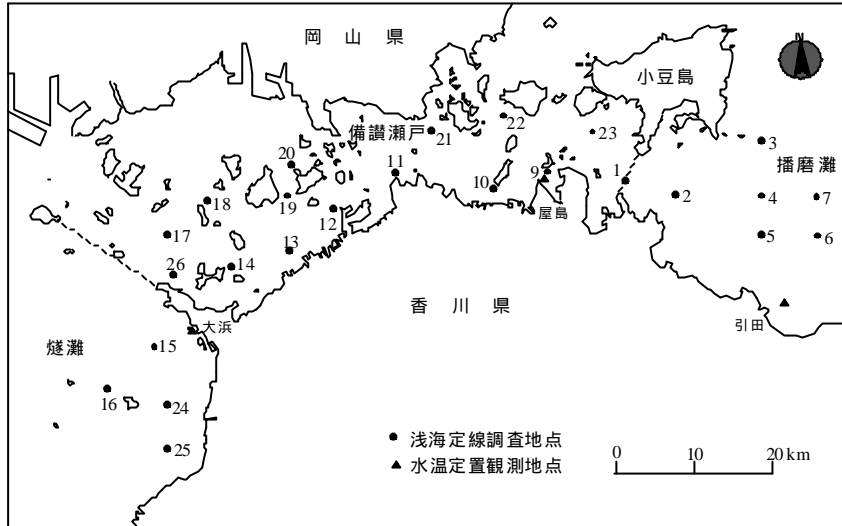


# 香川県漁海況速報 平成14年11月 (H14- 8号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成14年11月11日(播磨灘) 7日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低めから著しく低め」、塩分は「やや高めからかなり高め」、透明度は「やや低め」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	19.7	19.7	19.5	32.9	33.0	33.0	6.9	5.05	4.94
	平年値	21.1	21.1	21.2	31.9	31.8	31.9	8.2	5.01	4.87
	平年偏差	-1.4	-1.5	-1.7	1.1	1.2	1.1	-1.3	0.04	0.07
	状況	かなり低め	著しく低め	著しく低め	やや高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	19.1	19.1	19.1	33.0	33.1	33.1	4.0	5.18	5.19
	平年値	20.5	20.5	20.3	31.5	31.5	31.8	4.8	5.01	4.98
	平年偏差	-1.4	-1.4	-1.2	1.5	1.6	1.3	-0.8	0.17	0.21
	状況	かなり低め	かなり低め	かなり低め	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	平年並み	やや高め
燧灘	4地点平均値	19.7	19.5	19.5	33.2	33.2	33.2	5.8	5.12	5.07
	平年値	20.9	20.7	20.8	31.8	31.9	31.9	7.5	5.50	5.18
	平年偏差	-1.2	-1.1	-1.3	1.3	1.3	1.3	-1.7	-0.38	-0.11
	状況	やや低め	かなり低め	かなり低め	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

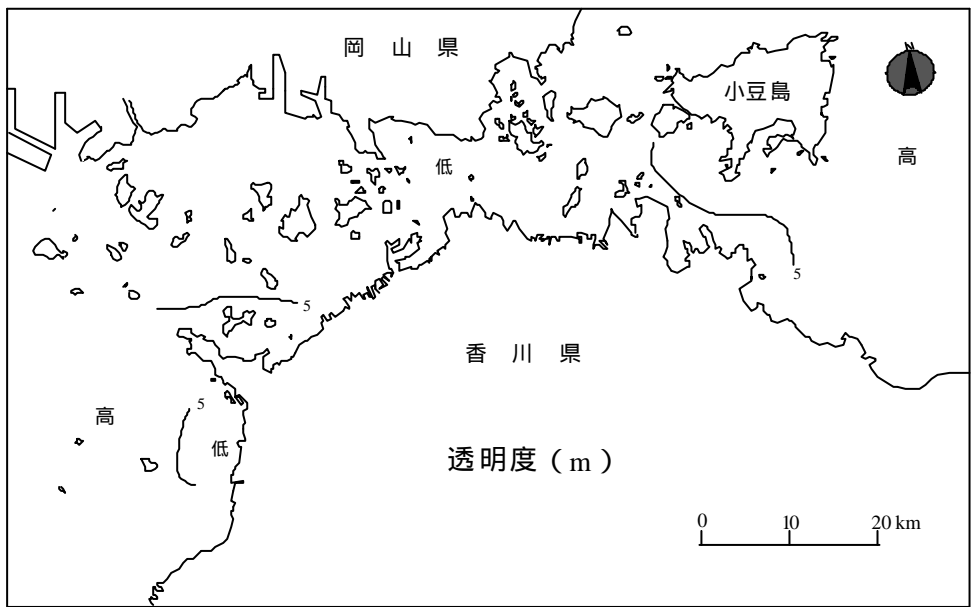
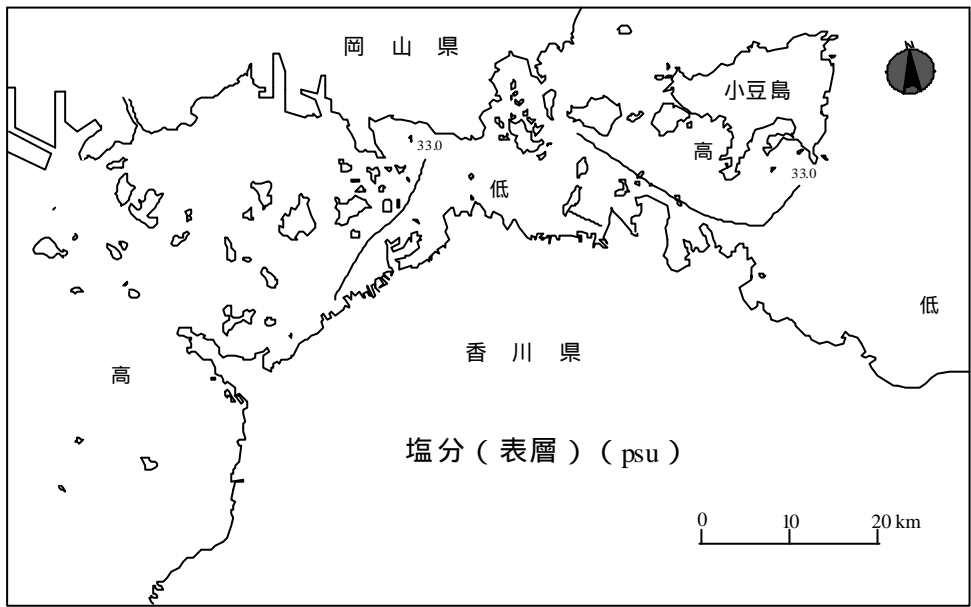
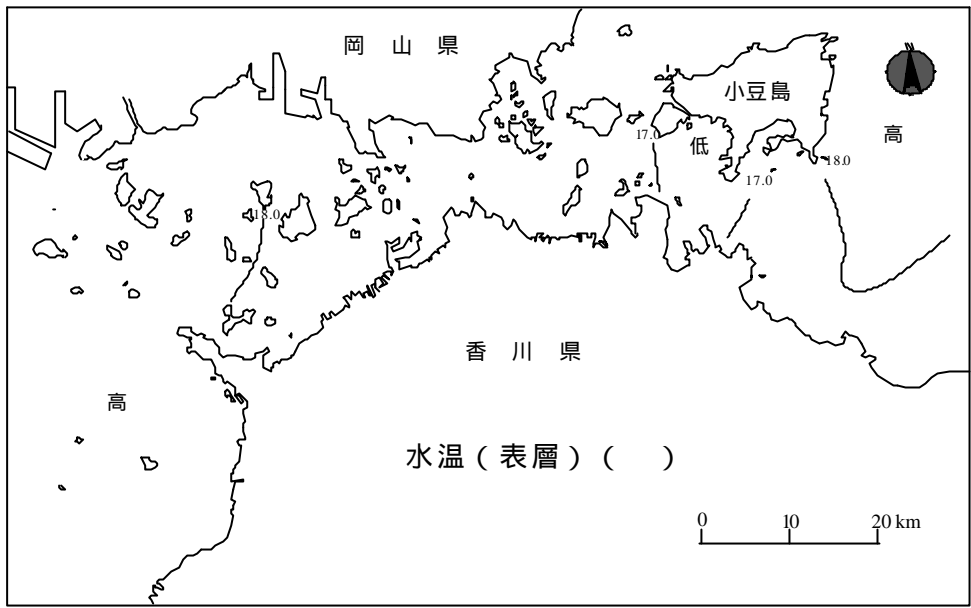
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成8(1996)年度

透明度：昭和58(1983)～平成8(1996)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差
		: 標準偏差



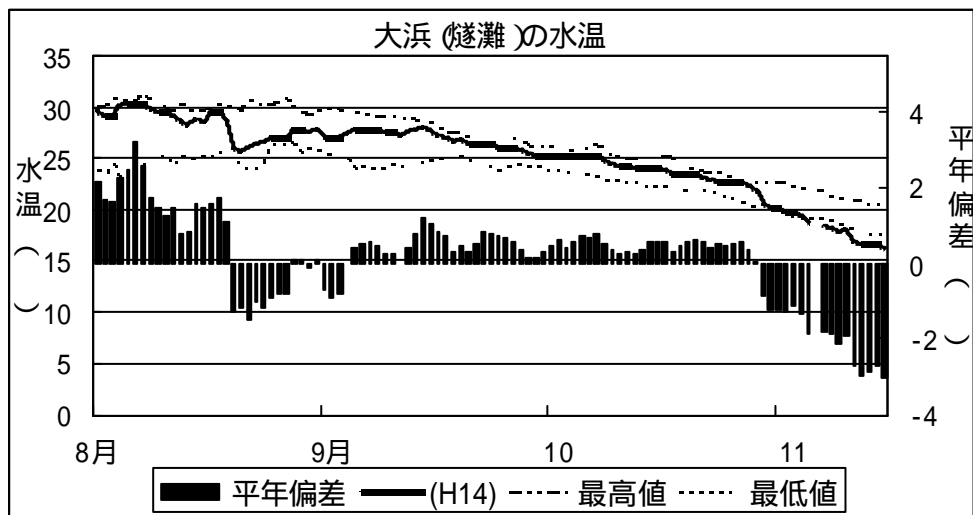
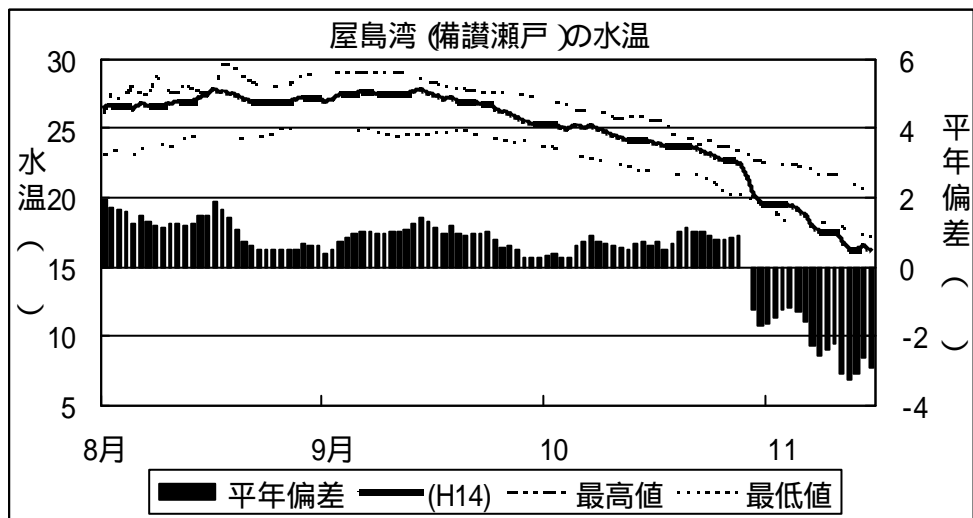
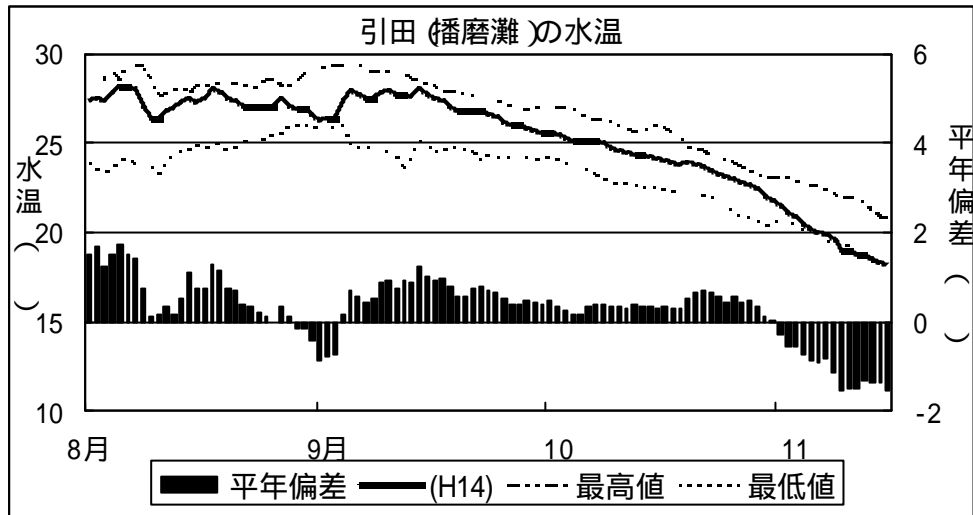
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 10月中旬に0.5前後で推移していた平年偏差が11月に入り急激に低下し、  
-1.7前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 10月中旬に0.7の前後で推移していた平年偏差が下旬から急激に低下し、  
-3前後で推移している。

燧灘(大浜): 10月中旬に0.5前後で推移していた平年偏差が下旬から急激に低下し、  
-3前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成12(2000)年  
屋島: 昭和50(1975)~平成12(2000)年



3) 赤潮

播磨灘：10 中旬、西部（志度湾）で *Mesodinium rubrum* の赤潮の発生があった。

備讃瀬戸：11 月上旬、東部（高松港）で *Mesodinium rubrum* の赤潮の発生があった。

燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成14年 11 月 11 日（播磨灘）、7 日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.13
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.00
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11	0.07

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
燧灘平均	0.0%	-	-	-
総平均	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

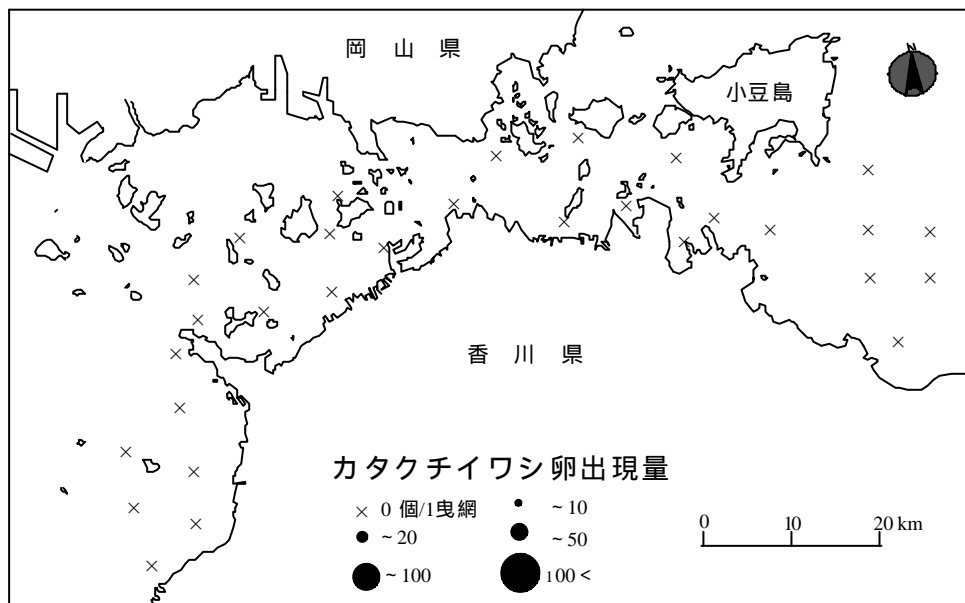
- : 平年値が 0 の場合を示す。

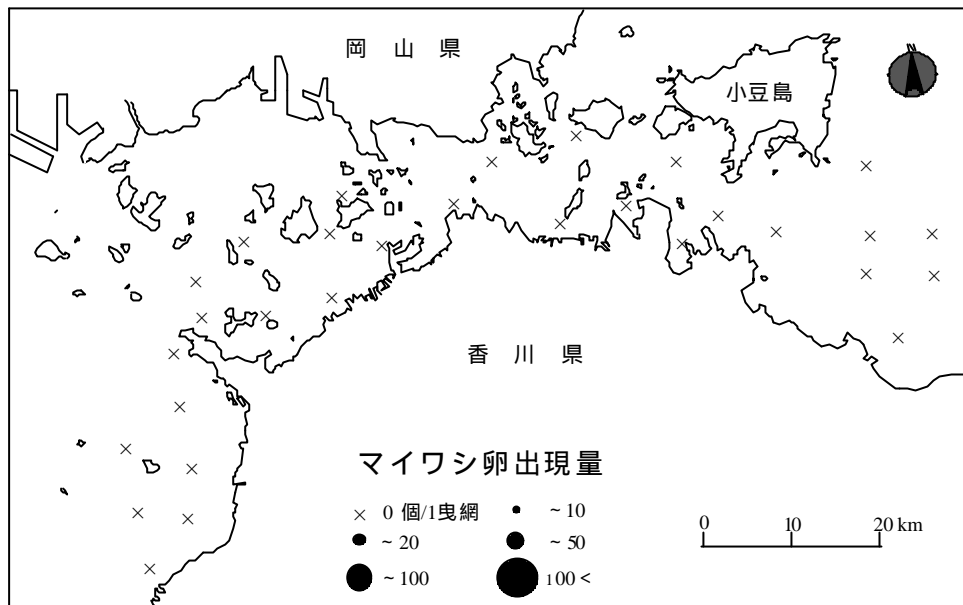
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和 55（1980）～平成 12（2000）年度

マイワシ：平成 5（1993）～平成 12（2000）年度

カタクチイワシ、マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。





## 2. 漁況

10月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマアジ、イボダイ、小型イカ類、小型エビ類、シャコが漁獲されている。</p> <p>引田の柵網ではマアジ、ウルメイワシ、マイワシが好漁である。</p> <p>船びき網のシラス漁は、10月にはいって、漁獲量は減少したものの操業が続いている。</p> <p>10月中旬頃から津田海域において地びき網でカタクチイワシが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マダイ、小型エビ類、小型イカ類、マダコ、イイダコが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、フグ類、トカゲエソ、小型エビ類、シャコが漁獲されている。</p> <p>伊吹の柵網では当歳魚のハマチのまとまった漁獲があった。</p>